

⑳ デジタル技術等を駆使した行政サービスの高度化やあらゆる関係者の働き方改革への挑戦～小名木川出張所の河川管理DX始動～

受賞機関 国土交通省 関東地方整備局 荒川下流河川事務所

キーワード 新たなデジタル技術の導入、DX、河川管理の高度化、働き方改革、行政サービス向上

全建賞審査委員会の評価ポイント

デジタル技術等を活用した河川管理の高度化による行政サービスの向上と働き方改革の取組。現場からのニーズ主導により業務フローまで遡及して構築している点や、河川利用オンライン申請と組み合わせた宅配ロッカーによる鍵の受け渡しなど、ユニークな取組により行政サービスが向上されている点が評価された。

1. はじめに

荒川下流河川事務所小名木川出張所は全国初の河川系DX出張所として、デジタル技術等を活用した河川管理の高度化を図り、行政サービスの向上と働き方改革に挑戦している。

2. 事業の概要

荒川下流河川事務所は、建設生産プロセスの変革による生産性向上を図り、魅力ある建設現場を目指すため、ICT（情報通信技術）の全面的な活用の施策を建設現場に導入するi-Constructionを積極的に進めている。さらに、急速なデジタル技術の進展や新たな働き方への転換などを背景に、インフラ分野におけるデジタルデータと情報技術を活用したDXを推進している。そこで、小名木川出張所において、河川管理業務の高度化及び河川利用者の利便性向上等を目的にDX関連施設を整備、情報通信技術を活用した行政サービスの高度化やあらゆる関係者の働き方改革に挑戦し、インフラ分野のDXの取組を積極的に推進している。

迅速化（その場で判断）を図った。これにより、点検員・職員の対応時間が削減され、負担の軽減と働き方改革につながった。

河川敷等の利用申請においてオンラインで申請するとともに宅配ロッカーと連携した河川敷に進入する際に必要となる車止めゲートの鍵の貸出を行うことで、アポイント不要、非対面での鍵の受け渡しが可能となり、手続き集中時における河川利用者の受付待機時間の削減など、河川利用者へのサービスが向上した。また、担当職員が不在でも鍵の受け渡しが可能となったため、職員は在庁・在宅に関わらず働ける環境となり、働き方改革につながった。

⑤ 宅配ロッカーと連携した貸出事務の電子化 河川利用のオンライン申請



アポイント不要、非対面で鍵の受け渡しが可能

No	出張所DX	
①	河川巡視、状況把握におけるリアルタイム映像伝送・トラッキング	監督業務の効率化
②	デジタル河川管内図を活用した河川管理ダッシュボード（工程管理）	監督業務の効率化
③	デジタル河川管内図を用いた河川区域等の把握	窓口業務の改善
④	電話応答の削減を目指した『チャットボット』導入	窓口業務の改善
⑤	宅配ロッカーと連携した貸出事務の電子化	窓口業務の改善

①リアルタイム映像伝送



小名木川出張所河川管理DXの取組

3. 事業の成果

河川点検時に、リアルタイム映像伝送装置であるウエアラブルカメラを導入した。ウエアラブルカメラで撮影したリアルタイムの現地映像を関係者がクラウド上で共有することで、異常箇所の点検、診断、措置等、対応の

4. おわりに

荒川下流河川事務所では挑戦中の河川管理DXは、人口減少や少子化・高齢化による担い手確保が課題となる中で、どのように「X」（変革・改革）できるかを試行錯誤しながら、課題解決型で河川管理の高度化を図り、行政サービスの向上と働き方改革に挑戦し続けている。

また、今後は荒川下流河川事務所等で実装した各種の取組を他事務所等へ横展開し、関係者との意見交換や改善を重ねることで、更なる業務の効率化と河川利用者の利便性向上を目指していきたい。

賛助会員 (株)建設技術研究所